



京都府南部地域 聴覚障害のある児童生徒向け学習会及び保護者研修会 報告

日 時	平成30年7月31日(火) 14:00~15:30		
場 所	京都府スーパーサポートセンター		
内 容	児童生徒 「自らのきこえについて知ろう」	講師	SSC 言語聴覚士 野田章訓
	保護者 「聴覚障害児童生徒が小中学校で大切にしたいこと」		
		講師	京都府立聾学校 京都府聴覚支援センター センター長 本庄良一 氏

京都府南部地域の通常の学級に在籍する聴覚障害のある児童生徒向きに学習会と保護者研修会を行いました。最初に全体で話をした後、児童生徒と保護者に分かれ、それぞれで学習会・研修会に参加していただきました。

保護者研修会では、京都府立聾学校 京都府聴覚支援センター センター長の本庄良一先生に、「聴覚障害児童生徒が小中学校で大切にしたいこと」をテーマに話をさせていただきました。自己紹介から始まり聴覚障害のある子どものきこえ方や、保護者は子どもたちの後援者であるべき、と今まで関わってきた聴覚障害児童生徒の話も踏まえながら幅広い内容で講演していただきました。

児童生徒向け学習会では、前半「自らのきこえについて知ろう」をテーマに、当センター言語聴覚士ときこえの仕組みや補聴器の歴史、補聴器の取り扱いについて学習しました。後半は難聴理解かるたを使って、自分や友達のきこえを振り返り、読み札を読みながらみんなで共感しました。



【児童生徒・保護者の感想】

自分のきこえについて調べられてうれしかった。しかもかるたもとてもたのしかった。(児童)

補聴器のしくみや、どうやって音が耳に入ってくるかが詳しく分かった。(児童)

家族間で話をしていて「なに？」と話題に入ってくるのがよくあって、そういう時はいつも「あなたには関係ない話や」と切り捨てるが多かったのですが、さびしいのだと言われてハッとしました。なんとなく入っている＝健聴なんだから、難聴の子は入っていない＝気になる という事に気づきました。とても勉強になりました。(保護者)

自分で体験して、考えて、行動できるように家ではリラックスできるようにこれからもしていきたいです。(保護者)